

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所フルーツバスケット		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの工夫	毎月、曜日ごとに課題を出しながら適切なプログラムを決めています。 同じ内容でも、個々に合わせ難易度や補助の度合いを話し合いながらプログラムを決定している。	ひとりひとりが楽しんで活動できるようプログラムの内容の幅を広げていきたい。
2	言語面や運動面での課題を持つ児童への個別療育	言語聴覚士、作業療法士を配置して保護者同伴で行っている。	特性や発達段階に合わせた療育ができるように、保護者と情報共有を行っている。
3	利用定員や子供の状態等に対して、職員の配置数や専門性が適切である	言語聴覚士・作業療法士・保育士・児童指導員が児童一人に対して、きめ細やかな支援を提供できるよう取り組んでいる。	研修を行い、スタッフのスキル向上にも取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	消防訓練等、実施はしているものの保護者に周知が十分ではない	連絡帳には記載しているが、保護者には伝わりにくい。	掲示を活用し、周知活動に努める。
2	保護者会・ペアレントトレーニング、保護者向けの研修の機会がない。	日・祝日が休所日であり、休日に勤務できるスタッフの確保が難しい状況である。	個別的に密な対応に努めていたり、送迎時に保護者の方向士に関わりがもてるように努める。
3			